

「うちどく」で 家族のコミュニケーション!!

取手市では平成30年10月から、毎月23日を「取手市子ども読書の日」と定め、子どもの読書活動、特に「うちどく」の普及、啓発に努めます。



「うちどく(家読)」とは? 家庭で読書を通してコミュニケーションを図ろうという取り組みです。

子どもたちの読書量は、学校で行われている「朝の読書」などの様々な読書活動の広がりによって、増加傾向にあります。そこで、読書の習慣を家庭にも広げ、家族で一緒に本を読むことや、読んだ本の内容について語り合う経験を持つことは、子どもの心を潤し、耕していくことになるでしょう。そして、家族のきずなを深めるきっかけともなるでしょう。

「うちどく」は、読書体験を家族で共有することで、子どもの生活リズム向上にもつながる活動です。感想を話し合ったり、人にすすめたりして言葉にすることで、コミュニケーション能力や読解力、表現力を高めることにもつながります。

「うちどく」は、子どもも大人も一緒に成長し、心の豊かさを育む活動でもあるのです。

《うちどくの全国情報は》

[うちどく.com](http://uchidoku.com)

検索

もしくは



より

お問合せ 取手市教育委員会
取手市立取手図書館 TEL 0297-74-8361